

特集

酒田の未来を 考えよう

2018年に策定した酒田市総合計画は、2022年度をもって前半5年間で終了します。
今年度から後半5年間の基本計画の策定作業がスタートします。
閩市企画部企画調整課企画調整係 ☎2615704



酒田市副市長
矢口 明子

もしえのん

総合計画は、10年後の酒田をどんなまちにしたいのか、「めざすまちの姿」を描いた、市の最上位計画のこと。2018年にできたのよ。

計画ができてからまだ3年しか経ってないなら、今は何もしなくてもいいと思うのん。

市の現状や課題を整理し、「めざすまちの姿」に近づいているのか改めて検証することが大切なの。策定したときにはなかった新たな課題が出てくることもあるから、基本計画部分については、5年間ずつ前期計画、後期計画を策定しているのよ～。

ほえー。

総合計画で定めた「めざすまちの姿」は下の図のとおりよ。

●めざすまちの姿【基本構想2018年度～2027年度（10年間）】

賑わいも暮らしやすさも共に創る公益のまち酒田

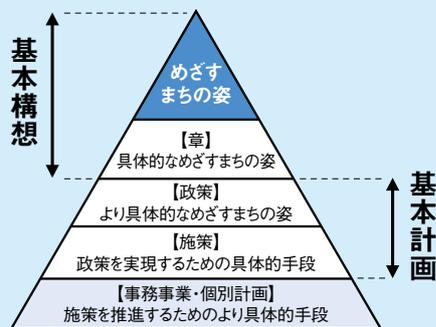
果敢に
チャレンジできる
産業交流の盛んな
港(湊)まち

五感をもてなす
感動のまち

対話を通した
市民の参加が
あふれるまち

誰もが
いきいきと暮らし
「住み続けたい」
と思えるまち

総合計画の構成



●具体的なめざすまちの姿

I 未来を担う人材が豊富な酒田

II 地域経済が活性化し、「働きたい」がかなう酒田

III ファンが多く移住者・定住者・観光客が増加する酒田

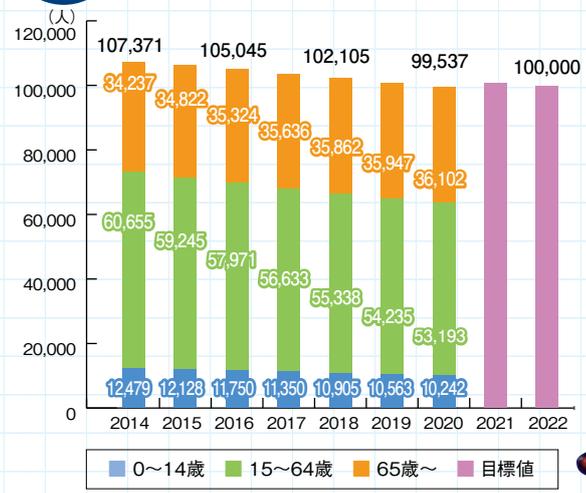
IV 暮らしと生きがいを共に創り、お互いが支え合う酒田

V 地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすい酒田

VI 都市機能が強化され、賑わう酒田

◆基本計画部分は、2018年度から2022年度までの5年間です。

人口 年度末人口の実績および目標



総合計画3年目となる2020年度末に10万人を割り込みました。本市の人口減少は、想定より急速に進んでいて、今後も急速な人口減少が見込まれます。特に若い世代の大幅な減少が大きな課題です。



本市は前に進めているのかな？
 総合計画に掲げた「めざすまちの姿」に近づけているのか、本市の大きな目標である人口と所得の状況と財政の見通しについて確認してみましょう。

所得 一人当たりの市民所得の実績および目標

総合計画1年目の2018年の1人当たりの市民所得の実績は291.3万円。2014年の260.5万円からの4年間で30.8万円(11.8%)増加しました。目標を上回るペースで増加しています。



市民所得は目標値を上回っていますが、人口と財政収支には課題があります。

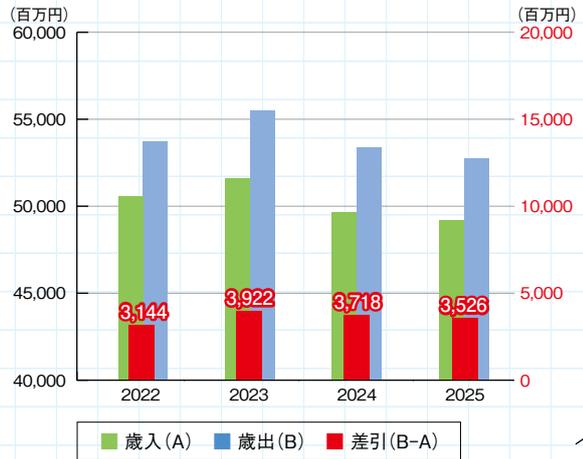


◆一人当たりの市民所得算定方法〔雇用人報酬＋財産所得＋企業所得〕／〔総人口〕

なんだか不安になる情報もあつたけど、大丈夫なの??

財政 歳入・歳出および財源不足額の試算

基金(家庭での貯蓄に相当)の活用、事業の見直しや効率化などにより、財源不足を解消する必要がある。限られた財源の中で、持続可能なまちづくりをどう進めていくのか、みんなで考えてみましょう。次のページで各施策の状況を解説します。



本市では、持続可能な財政運営を目指すため、2021年2月に、今後の財政収支の見通しを試算しました。財源不足額については、2023年度がピークとなり、その後は減少傾向となる見通しです。

主な施策の3年目の成績表

思いのつまった
総合計画だけど、
きちんと計画どおりに
進んでるのん？



目標に近づいているのか
どうか気になるよね。
これは、「めざすまちの姿」
の実現に向けて、施策が成果
を上げているかを、現状にお
ける課題とともにチェックし
た成績表よ。



成果指標の進捗状況

- 順調(目標達成) 17(15.7%)
 - おおむね順調 22(20.4%)
 - 遅れている 46(42.6%)
 - 未測定など 23(21.3%)
- 計108(100%)

◆未測定など/今後の市民アンケートで把握する
指標、統計調査などに基づく未公表の指標

進捗状況の評価基準

- 順調(目標達成) 進捗率≥100%
 - おおむね順調 100%>進捗率≥60%
 - 遅れている 進捗率<60%
- ◆単年目標の進捗率
=(2020年実績値-基準値)/(2022年目標値-基準値)

確かな学力の向上

標準学力検査における全国標準以上の教科の割合(中学生)



目標値	実績値
増加させる	71.4% 〔2020〕

現状における課題

子どもたちの教科に対する関心・意欲は高まってきてはいますが、社会の一員として自立するための資質や能力の基礎となる学力の定着が課題となっています。

企業立地の促進

企業立地件数(5年間累計)



目標値	実績値
10件 〔2018~2022〕	13件 〔2018~2020〕

現状における課題

酒田京田西工業団地が売完に近づくなど、企業が大規模立地や事業拡張を検討する際に対応できる用地や賃借物件(工場、倉庫)が不足しています。

地元就職とUIターン就職の促進

新規高卒者の県内就職率(5年平均)



目標値	実績値
70%以上 〔5年平均〕	67.6% 〔2020〕

現状における課題

コロナ禍の影響により地元志向が高まり、酒田公共職業安定所管内の新規高卒者の県内就職率は増加しましたが、県内の他地域と比較すると未だ低水準となっています。

担い手の確保・育成

新規就農者数(5年間累計)



目標値	実績値
100人 〔2018~2022〕	75人 〔2018~2020〕

現状における課題

高齢化の進展や離農により、これまで蓄積されてきた知識・経験の継承が困難になってきていて、栽培技術等を次世代(新たな担い手)へ継承していく必要があります。

水産資源の確保とブランド化

市内水揚金額



目標値	実績値
1,500 百万円 〔2022〕	1,667 百万円 〔2020〕

現状における課題

経年劣化により収容能力が著しく低下した県漁協の冷凍倉庫の更新や、近年のスルメイカの不漁などにより廃業する船の増加が課題となっています。

広報の充実

SNSのフォロワー数



目標値	実績値
10,000人 〔2022〕	20,729人 〔2020〕

現状における課題

情報を得る方法が多様化し、多くの人に確実に情報を届けることが求められる中、広報紙だけでなくSNS媒体なども活用した効果的な情報発信が求められています。

八幡、松山、平田地域と飛島の振興
交流人口（八幡、松山、平田地域と飛島）



目標値	実績値
100万人 〔2022〕	61.3万人 〔2020〕

現状における課題



地域にある宝（資源）を磨き、明確なターゲットに向けて新たな価値を発信し、交流人口およびその波及効果を増加させる取り組みが求められています。

中心市街地における都市機能の再生
中心市街地の土地価格の維持（駅前と中町の平均価格）



目標値	実績値
49,500円/㎡ 〔2022〕	48,600円/㎡ 〔2020〕

現状における課題

行政中心で取り組んだハード整備に加え、ソフト事業の推進や、有効活用されていない公共空間を民間と協力し活用することで中心市街地の活性化を図る必要があります。

公営住宅の提供
快適な居住環境を提供するための公営住宅の改修（5年間累計）



目標値	実績値
80戸 〔2018～2022〕	48戸 〔2018～2020〕

現状における課題

高齢者世帯や単身世帯の増加など、多様な世帯構成に対応した安全で質の高い住宅への更新や、人口減少に対応したストック（確保）量の見直しが課題となっています。

目標値と実績値に差がある施策もあるね。その差を埋めるためには何をしたらよいか考えて、軌道修正していくことが大切なのよ。



計画って立てたら終わりじゃないのん！



そう！計画を立てるのがゴールじゃなくて、そのめざすまちの姿を達成することがゴールなんだよね。



移住定住対策
人口に対する社会減（転出数－転入数）



目標値	実績値
201人 〔2022〕	148人 〔2020〕

現状における課題

コロナ禍の影響により地元志向が高まり、全体として社会減（転出超過）は縮小しましたが、若い世代、特に女性の社会減が課題となっています。

観光の振興
観光施設入込者数



目標値	実績値
350万人 〔2022〕	185万人 〔2020〕

現状における課題

コロナ禍による新たな生活様式の定着を踏まえ、マイクロツーリズムやオンラインの活用などウイズコロナ時代に対応した観光施策を展開する必要があります。

妊娠・出産・子育ての支援
出生数（5年間累計）



目標値	実績値
3,100人 〔2018～2022〕	1,619人 〔2018～2020〕

現状における課題

出産・育児に不安を抱える妊婦や家庭が年々増えており、関係機関と連携した支援体制が必要となっています。

健康寿命の延伸
介護度が維持改善した割合



目標値	実績値
80% 〔2022〕	70.0% 〔2020〕

現状における課題

高齢者のみの世帯や要介護状態となる高齢者は年々増加する一方、運動習慣のある高齢者の割合は少なく、さまざまな活動を通じて地域との関わりを増やす必要があります。

協働の地域づくり
地域住民自らが主体となった地域の
ありたい姿※を協議する場の設定（5年間累計）



目標値	実績値
10地域 〔2018～2022〕	7地域 〔2018～2020〕

現状における課題

市内には36のコミュニティ振興会が組織されていますが、地域によっては、協働による課題解決の実践を仕掛けることができる人材が不足しています。

3年間で見えた 新たな視点と課題

後期計画の策定にあたっては、前期計画策定時にはなかった、次のような新たな視点や課題も見えてきました。視点を踏まえ、人口減少のペースを抑制していきます。



1 コロナ禍から得た 教訓を活かすまちづくり

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機として、市民や企業の行動の変革を促しながら、所得向上につなげる取り組みが求められています。

どれもここ最近よく聞くようになったキーワードのん。



2 カーボンニュートラル社会の 実現への貢献

国が進める脱炭素化とそれに伴うグリーン成長戦略に沿って、酒田港を中心とするエネルギー産業を強化する取り組みが求められています。



3 市民に優しい デジタル変革の推進

デジタル技術を活用することで、新たな価値を生み出し、市民の生活をより良いものとする優しいデジタル変革が求められています。



今ココ!

成果指標や施策の実績などを踏まえ、現状の課題整理を行っています

酒田市総合計画審議会で審議いただき、その過程で多くの市民から集約した意見などを反映させていただきます。また後期計画の策定に合わせて、関連する「酒田まち・ひと・しごと創生総合戦略」を見直します。

今後のスケジュール

どうやって進めていくのん?

令和3年度	8月	総合計画審議会 委員の委嘱、諮問	
	10月～	【審議】現状における課題	
	11月	市民アンケート調査 意見集約(随時)	反映
	2月	【審議】今後の方向性と主な施策	
令和4年度	4月	【審議】原案	
	5月	【審議】最終案	
	7月	答申	反映
	9月	市議会定例会に議案として提案(予定)	

酒田市総合計画審議会



市長より総合計画の策定について諮問を受け、答申を行う審議会。市内の各分野(住民自治、産業、労働者、福祉、教育、市民活動等)を代表する委員25人で構成されています。



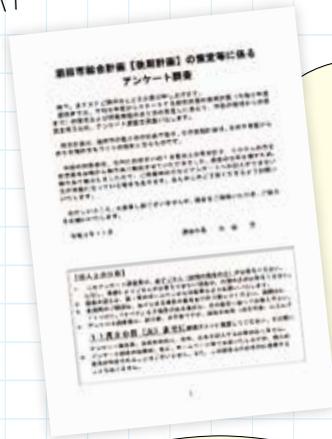
みんなの意見大募集!

考えよう、自分のまちのこと

本市が賑わいも暮らしやすさも共に創る
公益のまちにしていくなために、あなたの声を聞かせてください。

市民アンケートを行います

市内にお住まいの18歳以上の方
計2,500人(無作為抽出)にアンケー
トを郵送します。
提出方法/11月30日(火)まで同封の
封筒(切手不要)に入れて返信
◆11月中旬に発送します。



出前講座

「みんなの総合計画」を 利用してみませんか

総合計画についてもっと詳しく解説
したり、皆さんからの意見をお聞きす
る出前講座をお届けします。5人以上
集まったら、下記二次元コードから
お申し込みください。担当職員が皆
さんのところへ伺います。



▲市ホームページ(出前講座)



インターネットでも 意見募集中!

「ここを改善したらいいまちになる
のにな」「もっとこの施策に力を入
れてほしい」
そんな率直なご意見
待ってます。



▲アンケートフォーム

本市がめざすまちの
姿を描いた酒田市
総合計画はこちら▶



前期計画の3年目までの
実績と現状における
課題はこちら



総合計画審議会の資料▶

みんなの声を
聞かせて
ほしいのん!



あなたはどんな酒田で
暮らしたいですか

現在の総合計画は、2016
年度から2年間をかけ、市民との
対話を大切に2018年度から
2027年度までの「10年間の
基本構想」「前半5年間の基本
計画」として策定しました。

総合計画は、2年間で延べ1
千400人以上の市民が参加
した総合計画未来会議での対
話を通じ、みんなで作った計
画。今はコロナ禍で多くの市民
が一堂に会しての対話は難し
い状況ですが、後期計画の策定
においても、より多くの市民の
皆さんの声を反映したいと考
えています。

従来の郵送による市民アン
ケート調査に加え、新たにウェ
ブ上でも広く皆さんの意見を
いただきたいと考えています。

総合計画は本市が進むべき、
いわば航路図。この酒田が、住
みたいまち、そしてずっと住み
続けたいまちであり続けるた
めに、総合計画(後期計画)への
皆さんの声をお聞かせください。